



▲自分たちで作った仕掛けを垂らす参加者

**自然と触れ合う家族の時間**  
ファミリーフィッシング教室

9月9日(土)、亀田記念公園で『ファミリーフィッシング教室』（登別市文化・スポーツ振興財団主催）が開催されました。

この教室は、家族と一緒に自然と触れ合い、仕掛け作りから魚釣りを学ぶことができる初心者向けのイベントです。

小学生の子どもとその家族の6組が参加し、釣り糸の結び方を学ぶところから作業を開始。準備が進んでいくとともに、魚釣りへの期待を膨らませていった子どもたちは、自分たちの仕掛けを使って、ヤマメやニジマスを釣り上げていました。

9/9

## 論語をもっと身近に

### 論語展示会

9月4日(月)から10月20日(金)までの期間、市内各施設で『論語展示会』を巡回展示しています。

市は、徳育推進の一環として、先人の教えを活用するため、今もなお、読み継がれている『論語』をより身近に感じてもらえるよう、関連する人物やその時代に使われていた道具を写真で紹介しているほか、市内で行われた論語教室の様子などを展示しています。

10月は、『市役所』（2日～6日）、『登別温泉ふれあいセンター』（10日～13日）、『婦人センター』（16日～20日）の3カ所で展示を行いますので、ぜひ足をお運びください。

9/4~10/20



▲10月20日(金)まで巡回して行われている展示会

## 姉妹都市との交流が楽しめる地域の祭り

9/2・3

### 第29回幌別地区手づくり祭り

9月2日(土)・3日(日)、市役所前の道道弁慶幌別線を会場に『第29回幌別地区手づくり祭り』（同実行委員会主催）が開催されました。

北海道銀行登別支店から幌別小学校前の交差点までの約350mの道路に、焼きそばやお好み焼き、チョコバナナの定番メニューをはじめ、ラーメンやデンマーク料理など、計51店のさまざまな露店が出店され、祭り会場は、にぎわいを見せていました。

市役所前には、今年も登別市の姉妹都市である宮城県白石市と神奈川県海老名市による観光物産販売が行われ、白石市は、白石産のお米『ササニシキ』や白石名産の『うーめん』などを販売したほか、甲冑試着コーナーを設置。海老名市では、海老名産のいちごを使った『いちごわいん』や『いちご酢』が販売されるなど、こだわりの地場産品などが並び、来場者は、商品の説明を受けながら購入していました。

また、日本工学院北海道専門学校（登別市）の学生による自作ゲームの体験コーナーなども設けられ、多くの人が祭りを楽しみました。



▲行列ができた白石市の『うーめんつかみどり』のイベント



▲多くの人で、にぎわいを見せた市役所前の通り